



2019-2020 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2019-2020 年度 No.16

事務局 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 F A X 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com



(マーク・ダニエル・マローニ会長)

2019-2020 年度 会長 坂井彦就、幹事 宮窪大作

例会記録

第 1984 回例会・3RC 合同懇親会

令和 2 年 2 月 18 日(火) みや川

1. 点 鐘 : 会長
2. ソング : それでこそロータリー
3. 「四つのテスト」唱和
4. 会長の時間 : 3RC 合同懇親会楽しく過ごしましょう。



国際奉仕委員会 グローバル補助金の話もあり、地区委員会に参加すべきと考えます。また、他のクラブとの交流は必要であり、積極的に参加をお願いします。

3月の予約、新型コロナウイルスの影響により、パタリと止ってしまいました。楽天、じゃらん等と手をくんで取り組んでいきたい。観光産業に影響が出てきました。外国人・高齢者の行動が止ってしまった。

5. 幹事報告 : 特になし
6. 出席報告 15人中10名出席 (63.33%)
7. 委員会報告 :

国際奉仕委員会 : 地区委員会に初めて参加しました。小松 RC ラオスの幼稚園建設に協力したいが、ラオスにロータリーがなく補助できないとのこと。当クラブでは何もしていないので、何か参加できればと考えます。

8. ニコニコBOX(SAA : 本日6名)

坂井会長:年に1度の3RC合同懇親会を楽しみましょう。

小西会員 : 12月より、事務所の改装を行っていますが、なかなか時間がかかっています。75才を過ぎての、気疲れと腰痛の毎日です。「老骨にむち打つ」を実感しています。山本英介さん 車ありがとうございます。

齋藤会員 : 今日は大いに知り合いを広め親睦を図りましょう。

三角会員 : 3ロータリー例会懇親を深めましょう。

山本武会員 : 久しぶりのみや川での3RC合同例会・懇談会楽しみです。

山本英会員 : 風邪をひかないよう気をつけましょう。

9. 閉会点鐘

3RC 合同懇親会



開会あいさつ



乾杯あいさつ



第 1985 回例会

令和 2 年 2 月 26 日(水) よいとこ井波 2F

1. 点 鐘：会長
2. ソング：奉仕の理想
3. 「四つのテスト」唱和
4. 会長の時間

新型コロナウイルスの話をする
と暗くなってしまう。ホテル業では、
マスクをする、しないの両局にな
っています。結局、全員マスク着用することとなり
ました。告知を行い、お客様と社員を守るというこ
とで。早く終息してもらいたい。33 年間の中で 1 番
の危機であります。

県観光課も緊急融資ですが、対応してくれており、
また、ふるさとクーポンも検討されています。

オリンピックの影響として、国内旅行の減少が心
配され、対策も検討されています。

5. 幹事報告：3 月 4 日 11：45～理事会を開催

熊野氏の入会式を行います。

6. 出席報告 15 名中 14 名 (内メイク 2 名)

出席率 93.33%

7. 委員会報告

広報委員会：次期地区チーム研修セミナーに出席

次期より委員会の名称が、公共イメージ委員会に
なります。その他、詳細については、次期会長会議
が開催されますので、会長会議の報告にお願いする
ことにします。

8. ニコニコBOX(SAA：本日 2 名)

坂井会長：早くコロナが終息して、ニコニコしたいですね。

山本会員：令和 2 年 2 月 22 日末娘が、無事結婚式を挙げ
ました。新型ウイルスの感染を心配しつつ、何とか

宮窪会員：毎度すみません。本日は、業界の安全パトロー
ルに参加のため早退します。次回もお願いします。

長谷川会員：所用のため、早退します。

畠中会員：卓話 1 月下旬旅行したラオスについてお話しし
ます。いつものとおりまとまっていませんが、よろしくお
願いします。



9. 卓 話「南砺ラオス会」 畠中 伸一君

1 月 28 日～2 月 2 日「南砺ラオス会」に参加
2004 年から、ピエンチャンを中心にラオス訪問
以後 16 回の訪問において、ラオスを支援

国際綱引き大会の開催、ルアンパバンで運動会、ペタン
ク大会、小学校・病院・警察に寄付、バーンサンハイ小学
校に蛍光灯・手洗い場の設置などを行いました。



面積：日本の本州と同じくらい
人口：650 万人 (2018 年)

首都：ピエンチャン

民族構成：低地ラオ一族 60%

その他 49 部族

言語：公用語はラオス語

各民族は独自語

通貨：キープ



表敬訪問



◎ラオス会に参加して

- ・手作りの国際協力であり
- ・子供たちの宝石のような
笑顔が原動力になっている。
- ・ラオスを旅行して自らも楽しむことが大切ではないかな。
(昔の日本を思い出します。)



- ・16 回の訪問で支援のノウハウを蓄積により進化
寄付の品物は日本から持って行くのではなく、現地
で調達、工事も同じく現地の工務店に依頼する形で進
め、経済の循環に結びつくよう進めています。

10. 閉会点鐘

(会報委員：川原、長田)